



繪本豊臣勲功記

三編
壹

遠 13
2209
21



特 13 遠へ
 2209 補
 21 卷



豐臣記三編

櫻澤堂山編輯
 一勇齋國芳畫

花里必齋

繪本豐臣勲功記
 三編

浪華書肆
 群玉堂
 文海堂



江北小谷城主
浅井備前守
長政之像

越前
大守



朝倉
左衛門督
義景之像

喜右衛門
尚次之像



江北之謀士
遠藤

浅井下野守
藤原久政



三好家軍略士
岩成主税助
好通之像



勢州
八田城主
楠
七郎左衛門
正具之像



羽柴
筑前守
秀吉之像



繪本豊臣勲功記三編壹之卷

目錄

信長登原都先攻青龍寺

属岩成退陣

木下計田畠平泊松河本列

属池田勇戦

光秀智勇降後池田勝政

属松永秋降

鶴見藤五郎根籍於洛中

属京都静謐



會本豊臣勲功記三編卷之一

江戸 八功舎 徳水州 補

信長上洛先攻青龍寺城属岩成邊陣

仁とのつゝ征とる响る。天神もよく是と相け。義をのりて伐とる响の地候もよく是と佐く。然に織田信長の新公方家とて獲てまねらせ。義を以て其の發端小まづ江別の上角家が所敵とある小桑安をく。此小戦ふこと。二日小して。兼復義綱を石部(遂去)その旗や。三楯城の十八箇所を残りなく。陥落させしめり。おより。上洛の道忽用多て新公方家義昭君と守山小詰と。わらせ。近日常都へ攻登ると。勢連但あり。多小降参の諸士も。之を兼加く。五萬余騎とを所へ。然れど小之好機。の門々の系都小足も。之留く。根據河津(即ち)退れ。信長を拒抗んと。あまづ山城の國西の岡青龍寺。小桑成を。統





信長入浴の場

三



信長入浴の場

三

河津東一たてまつる遠响織田殿町人們を召出さし自ら對面ありせ
らま心を安く家業を勵之教と忠下を怠らざれと所憲の命を多承ふ
一區々小賜賂ありまじむ細く名將たる緯を知り寛仁大度の子小こそ
と讚賞してぞ退出する其が中、小連、秋、跡、部、巴、の扇子と二本量盤
小載あまを致して賀し奉る信長、昭と河津あり、渠も固く一連奇
陣さらしや、一向不望をさそやとてその来扇を把揚さむい

日本 小和ん、手小入より、のたとぶれ
とあらせらまて、是、小、屬、と、命、せ、し、公、館、已、も、ま、て、取、敢、ず

兼つて千代より、代のあまきおて
と願副く、公、信、長、殊、又、感、悦、ま、し、く、能、も、後、つ、つ、り、は、る、大、張、あり、と、そ
褒賞の詞、法、から、む、重、宝、多、く、賜、り、て、聽、て、親、く、め、さ、ま、る、然、も、ま、小、藤

吉、清、秀、吉、河、前、小、出、て、勅、め、り、お、さ、く、今、之、好、候、小、若、の、據、せ、し、揚、別、武
士、の、中、小、お、わ、く、も、荒、木、伊、丹、池、田、の、諸、將、ハ、彼、地、累、代、の、地、頭、小、し、て、
然、も、名、譽、の、勇、士、あり、志、を、遠、達、之、好、が、め、小、催、促、せ、ら、ま、て、お、の
ま、く、が、城、小、瀬、も、居、る、と、い、ふ、心、之、好、の、逆、賊、と、生、死、を、負、小、す、つ、死
意、を、新、る、所、(此、方、より、新、公、方、家、小、河、津、味、方、を、奉、安、途、お、遠、な、れ
よ、目、又、軍、忠、あり、小、お、わ、く、ハ、恩、賞、重、く、行、は、ん、と、重、く、送、り、せ、ま、ひ、な、バ
渠、候、り、ら、む、と、新、公、方、家、の、河、津、若、信、と、主、君、の、忠、義、小、感、後、し、て、報、達、一、身、の
心、と、能、く、ま、ち、も、義、公、小、興、力、と、し、然、も、ま、は、河、小、子、を、張、揃、と、実、ある
諸、將、候、目、あら、む、愛、心、遠、納、と、し、然、も、ま、は、河、小、子、を、張、揃、と、実、ある
大、利、あら、ん、と、命、を、小、信、長、感、佩、せ、ら、ま、頼、り、東、西、小、就、る、人、を、招、き、本、中
が、勅、め、り、如、く、小、命、付、ら、ま、荒、木、池、田、伊、丹、等、へ、新、公、方、家、の、河、津、教、書、小

のびなぐ ちよとちや せん かく
 信長の書状と添て贈らるる。茲小遣使が宇城せる西行團青龍寺の
 その程を知らぬとて最先取援下。と信長より指揮たまひ仕上
 意向して唯一橋小攻隠せと命を得ると鳴谷輩、二千余一人隊小あり青龍
 寺 山城國七刺郡あり の構へ推進せし二せ、小攻うる小當城小凝ちるの好
 之家法とも申小智勇勝き。岩成之税助も防衛の方術も尋常ならむ。
 色院矢石と惜れなく隙隙もあらせむ戦ふと小進も大小敵軍悩さむ。衆
 扱ふ事おひもよらむ。顛倒する隙小日の暮しうども進もる更小退んと
 もせむ。猶攻は小なるを。岩成眺と心属九百余人の名とせ勝も先進を
 一池欠せて得をんと謀隙小集りたる織田勢の後廻り口々小儲て織田敵
 よりの加勢ありと味を多く近くと見たりしが思ひもよらぬ小魁隊の急士令
 釋好くらし強より鳥院打鬼強といは殺又害地小擲起りて進を小

驚顛る。こまのいふ小と猶復まらう。圍さるら。他兵自營の分ちも
 知もど散乱。らるが城をの些もとぞれむ。朝祥よりて聖教離合。進
 急と八方撃散。精兵叫揚て退返せ。織田の急よの立是もなく。
 旬々京都へ逃れり。信長より事と所をむとて。声と放ちて大小怒り
 方僅の要時を許さじ。大軍のつて踏つおせと命せと本下。詔く謂やう。不知業
 内の所小く。夜中の軍に強小免。刑や岩成之税助の容易者小惟らむとて
 明朝沖旗と當向らむ。然るべと重と小より。休ことと得と夜と時。一十九
 日の東境小総軍一同出陣さ。め新公方の沖旗とも集結して西の岡へ推
 進ら。五里は。大軍あり。野小も山小も充滿して。青龍寺の城を十重亦
 重小。推搦圍る勢ひの強。かんじりふぶら。城を大小懼怖も決も防戦
 備ふら。と惘然とて。目入らむと。岩成衆を激く。進言大勢をまら



岩成 主税助
 青龍寺の
 城の
 勇戦

と。たのしむ事やある。籠城をせし。頼より戦死せんとの願く。朝にたす。
 然る人軍をひた射く。番面旗を捲き。束せし。名を残り。人傳。是武士の
 有意あり。方儀。遠戰場を逃る。こも。何程の運や。死に。慥。小。癡。せ。う。け。廢
 人とあり。青龍寺。明の。臆病者。と。謂。人。詞。の。朽。骸。さ。よ。界。怯。の。さ。止。小。河
 名。を。残。さ。る。武。士。ご。け。の。心。を。持。と。烈。死。指。揮。小。諸。軍。勢。必。死。の。覚。悟。指。口
 と。着。守。り。と。防。衛。人。と。と。然。か。ど。小。信。長。の。昨。夕。の。軍。小。自。軍。計。さ。士。と。
 夥。く。毆。せ。る。ま。ば。憤。怒。ま。ま。と。く。ゆ。か。た。好。く。只。一。橋。小。攻。陥。せ。と。嗚。り。ま。ふ。と。
 藤。吉。高。品。小。制。願。わ。城。中。必。死。の。覚。悟。せ。し。く。ぶ。を。方。小。こ。ま。と。取。り。向。ひ。
 味。方。も。多。く。援。む。と。一。計。ひ。裏。さ。ん。小。と。強。く。信。長。の。所。帯。を。執。諸。儀。也。
 彌。高。密。意。を。告。敵。城。小。赴。う。む。長。政。の。仔。細。心。得。單。騎。小。と。青。龍
 寺。の。城。門。小。到。り。信。長。より。一。言。を。り。や。收。り。死。詞。あり。使。者。小。越。る。者。

ぞし。收。城。中。一。宮。主。と。呼。ぶ。を。介。守。門。の。名。さ。ま。小。助。と。名。次。り。し。が。岩。成
 更。小。龍。受。を。追。返。さ。と。謂。小。ま。を。後。野。小。助。と。名。こ。し。し。は。後。野。小。助。に
 方。儀。信。長。の。所。帯。を。城。中。法。奉。助。と。感。し。ま。ひ。只。一。言。を。通。言。て。その。不。意。を
 知。せ。ま。と。使。節。の。信。を。か。ま。ふ。小。を。禮。義。と。も。辨。し。一。途。小。名。戦。の。事。の。の
 意。を。辨。の。笑。止。さ。よ。と。謂。詞。の。苦。を。所。岩。成。實。中。の。思。ひ。一。使。使。士。を。通
 せ。と。て。関。戸。を。開。て。後。野。小。助。に。城。門。内。小。伴。ひ。来。り。を。税。助。小。對。面。させ。し。む。向。小
 後。野。小。助。に。謂。や。是。中。當。城。小。對。遊。守。防。戦。の。準。備。よ。め。つ。後。野。小。助。に。後。野。小
 助。心。を。一。致。し。て。死。を。輕。む。る。所。作。の。感。を。小。猶。餘。り。あり。然。こ。も。そ。の。勇。匹。更。し。
 近。く。思。慮。案。々。し。く。思。は。ま。さ。こ。り。城。を。枕。小。戦。死。せん。事。を。ま。ま。と。名。譽。を。な。さ。ふ。
 兼。武。者。の。不。作。あり。ぬ。と。苛。も。是。中。の。好。家。中。に。こ。人。血。張。り。由。い。ん。と。言。ひ。後
 野。小。助。と。同。く。ふ。と。遠。城。中。小。戦。死。せ。ば。敵。對。官。侮。ハ。勢。ハ。事。を。自。軍。の。心。

脱をせしむ。之好家法弱亡とあらん。律敵をらもこをせ痛めり。并に我らも
 織田信長軍を討せし。細より一軍をとも。累々殺す。好軍をせ。然るに
 中々遠流城小僅の勢り。指籠り。徳小戦。換あらん。高田高槻一隊あり。
 重て軍したまふ。こそ足下法。望む。こは。あ。ら。め。今。更。自。軍。に。は。後。に。於。方。を。し。
 戦死を察す。信長の通力なり。相違ひ。な。ら。ず。一。奉。意。の。如。く。還。を。せ。ら。ま。は。諸。次。
 の。糧。糈。を。た。り。小。計。を。し。と。所。て。岩。成。實。小。織。田。郡。の。大。量。竟。計。威。佩。を。小。命。を。
 あり。ゆ。さ。ぬ。命。越。し。如。く。獨。將。佐。小。ひ。離。さ。し。遠。城。小。を。今。更。小。達。達。を。く。
 いたせ。の。こ。も。ら。た。把。こ。は。怨。し。敵。を。し。ろ。せ。見。せ。ぬ。事。最。難。く。作。り。
 唯。戦。死。と。覺。期。せ。し。事。續。小。所。推。量。小。寸。分。違。は。ぬ。遠。上。の。小。計。ら。ひ。た。ぬ。
 之。く。速。不。還。を。し。と。す。一。軍。小。屬。く。一。の。不。望。こ。ま。あり。作。城。を。於。敵。心。を。教。
 せん。た。め。送。り。の。所。人。物。を。あ。ら。う。と。も。所。藩。を。さ。し。作。て。徳。們。一。百。小。還。せ。ま。ら。

あり。と。作。り。の。也。遠。最。も。よ。小。計。ひ。至。と。重。く。小。法。野。彌。信。を。復。し。所。
 然。念。一。た。ま。ふ。と。早。く。自。君。へ。重。達。し。よ。小。計。ら。ひ。失。せ。ら。せ。ん。と。そ。を。兼。平。陣。
 一。を。還。返。し。ぬ。後。の。岩。成。の。一。族。軍。不。審。て。訊。ふ。ゆ。ゆ。と。遠。地。を。能。く。一。還。を。
 せん。の。宣。ふ。と。問。を。岩。成。と。稅。助。に。問。て。大。小。若。以。是。候。長。日。の。敵。を。怖。ま。え。
 影。の。計。に。し。唯。亦。遠。地。小。残。らん。ゆ。ゆ。の。攝。列。の。自。軍。と。一。隊。小。あり。存。亡。を。共。す。と。え。
 傳。細。より。の。本。意。を。さ。し。敵。を。目。小。餘。大。軍。あり。ゆ。ゆ。計。畧。あらん。も。智。き。ゆ。ば。
 送。の。宣。ふ。と。不。望。せ。し。あ。ら。は。道。中。妨。ぐ。還。得。ま。ぬ。貨。と。も。難。か。自。軍。
 の。地。お。扱。ら。ぬ。と。多。量。を。設。提。て。土。産。小。せん。と。お。り。方。後。の。如。く。小。返。を。せ。し。信。
 長。我。を。討。り。ぬ。自。ま。信。長。を。討。し。と。し。驕。氣。小。門。陣。を。と。ま。し。け。る。
 然。れ。と。小。法。野。彌。信。を。復。し。小。陣。小。を。歸。り。本。下。小。朝。て。岩。成。が。不。審。の。詞。條。結。
 せ。り。小。秀。吉。所。く。ら。ち。笑。ひ。儲。と。計。策。圖。の。如。し。と。大。小。收。び。ま。し。と。す。

自兵野武士
秀吉
打合せ
當契
捉返



行はる日あらむとて河旗下諸人たらん偉大地うの極小似て惟と言はしつ
その機合うら峰次が福岡の二千余騎岩成城の未投敵二十余級茶小
七人の人達と投返して帰るは是と青龍寺家の證ありと信長小幡病
ひ。此小幡陣と青龍寺は城へ移させ玉ふ程さ(みれ小幡列へ遣はさ
たる使者は人を帰来て報とて重さく。荒木伊丹の両將の異儀なく河將佐
はさづ。固く約束をうもさる。池田の返答定りあつた。所きて秀吉大悦び
然らば明日蚤天より。河出馬ありて宣しつるべ。搦別還治の事易しと重さ
小信長欣悦せらる。當夜を河方の軍士達小幡納賜りて之慰せらる

本下計略本拍河友別 属池田勇戦

子達八斗の才の技業を河の鮮小も是らぞ。崔昂千里の駒の海外の功小走
るは池田の関き。今松河も國を攻るの紐め。伊丹の城を。伊丹親兵尾崎の城

荒木村重たちもも鐵田家小合時とて河小陣小悉し。信長大小柴倅
せ登應し。あして本下計奇計を受與荒木村重の船較多備艘也。尾崎
の潮路小勝々然と連夜大軍海上小挑索争ふと顯せし時刻は又伊丹
親兵の自勝之百余人を勝く。拒拒燒軍かんの準備なり。廿九日の甲夜の
間小名輩小兵糧喫を夜津浦より倉庫を當く進發を。這駒已小信
長の青龍寺の城小在せ。五万の勢せ列軍一玉ひま。衣巻も分ふ。ぬ
天西岡と河出馬あり。時小本下藤吉。信長の馬箭小進來を今朝河出
陣へ天下平治の河奈軍小催(バ)之軍(同)贏軍味をあげさせらる。自軍の敵を
河踏し。あつるふと言状し。小信長實小もとおぼめ。諸將小小祥と傳ふる。河
兼所ると認も了ぬ小幡と勝る。其の声の子龍万虎の一勢小山の河を崩れを像く
あり。之好方の城を小の這武者斗と所よりも。氣も魂も身小傷を。懼怖し。接



木下の
謀計
榎州の
沖艦
數百を
三好黨を怖む



榎州の謀計

會うら小伊丹親與二百余騎ひやうごおとろて兵庫表ひらて築ひらき兵庫神流の表城ひらを攻ひらて
 大焼起おほやけそがう山陰山陽の諸將しよしやうつぎもうち連つぎる。新公しんこう方家かたけ小將しょう佐
 一ひと次つぎ登のぼりしを流ながれさせ一ひと六む形かたち地ち遠とほ地ち小對せうたい濃の守まもりし。二ふた好この方かたの城しろを
 斥は候こうせ出いて實じつ吾われを採とり小せう隊たいも海上かうかう數かず百ひゃくの艦せん艦せん西宮さいみやう尾崎おしざきの潮うしほ路ぢ小せう據こ
 連つらて西國さいこく方かたの旗はた標め數かず百ひゃくを走はりて潮うしほ々々集ありて一ひと百ひゃくも討うち
 まきどと注ちゆう伸しんさる小せう好この個ひと々々方かた洲しゅうへりて惘わう果くわ前ぜん小せう信しん長ちやう極ごく火かの像ざう。
 うしろ六む西國さいこく和わ嶮けんの大だい軍ぐん怒いか潮うしほとありて元げん満まんせり此この朝あさ小せう隊たいく大だい切きある西國さいこく
 一ひと涉せつる通つう路ろあり。倘たう塞さいがまひひくまき。鬼おにもあま本國ほんこく小せう率そつ退たいき海うみ軍ぐん
 せんりのと臆おそ病びやう風ふう小せう吹ふ起おこらまは條じょう原げんた系けい進しんの波なみ遠とほ遠とほく富田とみだの善ぜん門もん寺じへ
 馳ち系けいり。細川ほそがわ真ま之の二ふた好この長ちやう治ぢ小せう對たい面めん一ひと方かた僅ひ將しょう軍ぐん義ぎ榮えい君きみハ洲しゅう腫しゅ物ぶつの所ところ惘わう
 日々ひひ小せう重ちゆうらせ玉たまふ東とう小せう歌か東とう西さいより進しん東とうまはり中なかつて洲しゅう小せう抱ぶる至し治ぢり

ままし斤時しんじもそやく阿波あまの國くにへ洲しゅう下げ向むかありて洲しゅう心しんまづ小せう保ぼ養やうの條じょうま
 一ひとまさまば慈じさべと諫いざなる小せうぞ各おの々々實じつ小せうも同心どうしんなり。當日そのひ己おのれの刻とき過すり頃ころ準じゆん
 備い味み區く小せう辯べん調てうつ。洲しゅう船せん小せう義ぎ榮えい君きみを投なげ系けい奉ほうり。細川ほそがわ真ま之の二ふた好この長ちやう治ぢ
 供奉くわんぷしまぬらせ阿波あま列れつせ當あたて出い帆はんせり。條じょう原げんた系けい馬ば馬ばて。諸しよ將しょうの自じ軍ぐんへ
 遠とほ事ことと告つげまら。友川ともがわ洲しゅう城じやう主しゆの二ふた好この日ひ向むか長ちやう治ぢも同どう城じやうせんとまら
 一ひとと岩いわ成なりる税ぜい助すけこまを割わり。色いろく力ちからを添そふるといふも所ところ容ゆるむとて小せう隊たいも
 本國ほんこく列れつへ遠とほ散さんせり。斯このる一ひと注ちゆう伸しんありて。高たか槻きの城じやう主しゆ入いりたをそや既すで小せう信しん長ちやう
 降くだる。一ひとま隊たいの名なを魁きとて友川ともがわへ推お進しんる。洲しゅう要やう心しんとて告つげまら。後ご菟うも風ふう
 殺ころす。然しかる自じ焚ぼん流りゅう隊たいも。恰さ防ぼう戦せんせまやと敵てき進しん東とうまは後ご菟うも風ふう
 親おやのま小せうてまらじうらむ。是このはまふ本ほん下げが謀まうむとまづ松まつ河がの國くに民たみを懐なつけまら。と
 信しん長ちやうを勸すすめて仁にん恩おん厚こうく布ふ施せせらるる小せう今いままは二ふた好このが苛げ政せい小せう惱なうも途と岸あん小せう若わ也

む百姓をまゝ蘇生せしむるなり。ひと。子孫に傳へて。從康を。そま。何か。八方。是。旋
 して。之。好。一。味。の。城。を。輩。と。怖。さん。た。ぬ。初。の。如。く。言。簡。し。て。の。け。り。が。こ。こ。小。信。と
 松。河。の。城。を。蘇。生。せ。し。む。事。比。孤。あ。ら。せ。中。小。も。飯。盛。内。國。旗。の。城。を。こ。好。小。野。也
 改。康。の。將。軍。河。列。へ。河。濱。海。の。し。と。所。と。等。し。高。屋。河。列。古。市。の。城。へ。急。小。池。行
 之。好。山。城。也。康。長。小。村。角。一。還。を。は。こ。と。を。勤。む。事。も。康。長。の。遠。慮。あ。る。者。由。へ
 還。城。然。る。べ。し。と。制。し。止。ら。せ。之。好。政。康。と。る。小。橋。祿。と。り。て。機。會。う。ら。西
 國。の。大。軍。新。公。方。家。河。加。勢。と。て。攻。上。り。尾。崎。へ。着。る。は。し。所。て。河。濱。軍。は。ら。へ
 難。く。自。燃。と。率。ひ。城。を。弃。四。國。を。當。て。ど。藩。失。り。る。小。康。長。も。初。て。河。濱。城。難。を
 一。岩。成。が。許。へ。使。者。を。つ。け。之。稅。助。小。信。を。告。げ。る。諸。方。の。自。方。河。濱。城。持。輩。軍
 も。せ。ば。じ。て。形。計。或。の。藩。う。せ。或。の。障。り。過。半。の。敵。小。信。へ。こ。こ。は。久。し。く。河。濱。城。軍。は。ら。へ
 せ。し。む。事。小。信。乃。弟。心。歸。國。して。後。事。を。謀。らん。是。下。も。其。地。を。河。濱。軍。難。を

軍。と。意。を。運。り。十。月。二。日。の。曉。又。小。條。原。左。系。小。清。水。の。城。を。還。救。せ。る。布。引
 瀧。山。の。西。城。も。し。の。際。小。信。の。藩。を。こ。う。遠。江。仲。小。岩。成。主。稅。難。斷。と。り。せ。し。む。事
 甲。斐。さ。く。其。川。を。還。て。四。國。の。方。へ。帆。行。り。信。け。る。程。小。信。長。へ。馳。て。其。川。の。城。小
 投。新。公。方。家。と。て。小。清。水。へ。請。待。し。ま。わ。せ。し。む。事。河。の。支。國。日。原。日。原。平
 角。小。信。び。し。事。命。本。下。の。奇。計。小。出。し。の。不。思。後。と。り。も。小。信。あり。遠。道。勝。ま。し
 功。と。り。の。伊。丹。親。貞。と。り。の。小。信。と。り。て。後。庫。面。を。放。火。し。諸。將。の。士
 を。怖。せ。し。む。事。遠。江。國。旗。を。り。ぬ。此。功。最。大。あり。と。て。公。庫。願。小。信。を。其。外。降。参。の
 諸。士。達。と。殘。り。を。唱。出。し。新。公。方。家。小。津。舘。を。し。め。勝。軍。の。賀。を。行。は。る。然。る。小
 橋。列。池。田。河。濱。城。池。田。河。濱。中。傷。政。ひ。と。り。の。事。を。河。濱。軍。も。り。や。し。と。て。河。濱。軍。は。ら。へ
 籠。城。し。し。む。事。信。長。小。信。を。怒。ら。せ。玉。ひ。直。地。小。池。田。を。攻。臨。せ。し。む。事。河。濱。軍。は。ら。へ
 福。富。堀。川。河。濱。田。を。一。隊。一。千。余。騎。向。せ。ら。る。遠。隊。の。名。士。今。も。今。も。軍



三好の一族
義榮と守護
四國へ
退去す

豊後三好義隆

功も達さる備ゆえ遠慮こそハ功目せんと號新て進るやいなや。金釋もをを塚
 小瓶着るに破らんと身はさう。池田筑後も勝政ハ園を別勇あつて些も
 臆せど。五百有金務費とあらて実出。四馳八走して欣起。我が方よしと進
 んごう。斬とるより進るは。大將 梶川平左衛門正健。氣掃の勇將ありなご。廊
 のうちへ一番小務投一喝。味や馬を躍らせ。鐘聲あく。踏雷の如く。筑後も小瓶着
 る備改こまを脱と見て。防衛の事と一旗ある。丹波も小任せ。金馬こそ整と大
 ちからも。梶川平左衛門小澄り合。一更もせど。双務して。五七合わと戦ひ。が
 池田ハを双の別勇あつて。虚と観る。正健がくくと。鶴出。鐘の津をた小と
 て。蟻着る。吹折る。梶川とささむ。ち力以に。抜んと。柄と。握る。際も。わら
 せど。池田が。威風。炮火の像。疾馳。進て。梶川。塊の。礮。面。徹。塵。小。の。ま。と
 撞き。そ。り。く。堪。え。ま。き。馬。よ。う。送。り。ぬ。小。墜。る。と。池。田。が。弁。者。を。傷。て。後。子

首せど提さるけり

光秀智勇降服池田勝政 属松永勘降

泥中へ一石ある。响の信を。固き。絆と。賞へ。然ハ。池田。筑後。守。ハ。梶川。を。設
 て。その。極。威。の。ち。く。熾。小。眞。起。號。進。ん。で。防。戦。ふ。こ。ま。が。為。小。時。移。さ。ご。も。
 城。を。取。つ。き。方。御。さ。る。ま。は。明。智。光。秀。子。ま。は。後。者。あ。り。な。る。明。智。孫。某。次
 光。秀。も。同。次。弟。光。忠。小。こ。百。有。余。金。を。士。を。授。け。虎。口。小。向。く。軍。を。挑。ま。せ。光
 秀。も。こ。宅。奥。田。を。巨。男。と。一。百。余。人。の。發。卒。を。心。懸。お。た。く。進。と。進。より。池。田
 筑。後。も。が。隊。中。へ。を。脱。を。敵。軍。を。驚。か。す。と。暴。雨。の。像。く。増。え。や。ま。は。る。光。秀。が。秘。に
 つ。を。傳。へ。諸。卒。を。ま。は。る。御。守。の。神。小。通。と。て。瞬。際。小。池。田。の。公。士。こ。十。餘。人
 を。敵。軍。例。へ。極。を。得。る。の。夥。し。丹。波。守。血。眼。を。と。奥。味。さ。拍。揮。を。ま。ご。も。
 を。脱。の。精。妙。小。群。易。と。止。防。ぐ。ん。軍。の。ま。く。ま。く。發。起。る。進。奔。合。と。り。某。次

兄弟得たりや。應と面も振らむ攻らむ。難なく一重は標推破し。総構中へ誘投らむ。流後も勝改の形と見らむ。取て返す。體の像く小純集の競投敵と逐拵とんと。正黒も多りて難起す。先秀見らむ。鞍の形輪小拭。たる。先流把く流後も。只一撃と視らむ。先秀原素を流へ下減らむ。かどの至津を。遠流願小敵輩の命を有つことあらむ。十を流決と將心斬量の勇士と先流小け。敵軍の余の之情多。馬を撃て怖さや。と視を將く。斬て放く。誤らむ。流後もが騎らむ。馬は驢頭控と擊抜らむ。名を得。明智がらむ。炮熾まら。應と馬人共小地を。善く倒さし。池田が舟等純集。技も本丸へ連投らむ。丹波も。是を看行。務政殿。と心得。一。此場の防戦も偏ひ。と。敵軍を纏めて率退く。此方の隊は。忽破見。進を一時小純集と。糸投らむ。城門は。外を攻。通福富。海田。仙。奥。

ども継が。攻抜人と揚らむ。先秀堅く制し。止。城。京都。種。勇。あり。味。忽。小。こ。ま。と。攻。伐。は。自。身。も。多。く。換。む。へ。一。霎。時。戦。略。を。後。げ。五。と。先。秀。早。騎。馬。を。騎。出。し。返。す。は。謀。略。へ。糸。結。め。大。吉。揚。て。こ。ま。の。織。田。家。の。侍。大。將。明。智。十。三。流。光。秀。が。城。を。流。後。守。刀。孫。小。重。宗。が。詞。の。作。對。面。あ。ま。と。先。秀。た。り。勝。政。塞。樓。小。起。る。宿。老。の。事。小。や。と。い。ふ。と。先。秀。別。々。當。國。流。任。人。倣。新。公。方。家。の。御。教。書。小。隨。ひ。奉。り。奉。朝。か。つ。る。不。足。下。一。人。以。ら。む。は。難。意。と。拒。ま。す。と。好。む。技。け。能。城。せ。ら。む。と。意。を。得。む。と。好。一。類。の。惡。逆。を。誰。か。妙。ら。む。事。や。あ。ら。む。と。ま。小。純。力。た。ま。ふ。事。の。紫。を。負。ひ。種。火。小。投。石。を。抱。て。流。刺。小。流。む。より。猶。危。ふ。ら。む。や。足。下。が。不。志。は。己。小。一。遭。約。せ。し。詞。は。重。き。と。先。流。の。勇。士。と。い。ふ。も。理。由。の。似。こ。ま。も。逆。徒。の。と。好。小。純。力。と。累。代。忠。孝。流。家。小。振。つ。け。死。と。守。ら。む。こと。至。愚。か。ら。ん。秋。足。下。の。と。好。小。信。を。盡。し。て。新。事。を。難。



光秀の炮術
馬を撃つ
池田勝政を
恐屈せしむ

城一五とも二好ハ足下と申棄て遠く四國へ逃下りては是ぞ之好が信小
 あらどや。天道の御討を承りて。新公方家の所旗もまご向てざるや。前
 前後を失ひ退去せし事實九成と思ふべし。今日も足下と申流れて
 敵軍隊さんと居せしと。怯勇士と炮殺せんも。怒ありと。救して馬と撃倒せしを
 述く。叛逆合夥の心せあら。忠義を潔く。新公方家小將將佐をさぐら
 安堵をまのまの英名承りて。子孫小傳へんた。新將軍義宗君の情怙小
 もせよ。その將軍と申つる。讓と受る人。おあらず。之好が方小推執られ
 て。上せし。執達をわらせ。將軍とみ。君のま。謂ねと。た。叛逆一身の
 將軍あり。又さ。あ。小彼君の癡。小。小。月の末。荒。と。あ。と。新不
 と。和。四國へ。向。せ。ら。さ。と。足。下。の。い。ま。の。お。や。と。謂。ね。と。池。田。務。政。の。一
 とも。奈。と。と。案。據。と。け。却。直。地。小。作。作。と。走。ら。せ。て。よく。實。否。と。听。し。む

る小義宗君の薨せし事。信小あ。と。今。の。誰。が。た。め。ふ。の。難。城。と。云。き。後。新
 公方家小降参を。と。明智小降参の。緯。を。報。せ。先。秀。大。小。を。是。後。比
 頼小茂川の本陣へ。推。挙。し。信。長。小。調。せ。し。大。將。殊。小。賞。美。と。か。外。
 二十貫の地せ。か。られ。池。田。の。城。小。降。参。と。後。先。秀。も。亦。く。賞。せ。ら。し。と。
 是。小。高。山。次。弟。高。政。の。性。日。之。好。が。た。め。小。海。く。せ。し。這。遭。一。番。小。純。参。の。新
 公方家小將將佐せし。忠。志。淡。く。と。り。と。そ。小。領。河。内。の。言。登。城。と。
 ま。の。又。同。國。君。の。城。自。之。好。た。系。事。又。義。継。の。不。義。の。一。族。小。為。擯。せ。と。
 子。後。松。永。を。將。佐。と。そ。之。人。衆。を。伐。ん。と。せ。が。實。小。松。永。小。同。心。せ。し。小。あ。ら
 ぶ。ま。ら。松。永。と。て。之。人。衆。を。伐。り。て。後。戦。怙。め。時。境。を。設。境。し。松。永
 を。蘇。せ。んと。計。り。あり。然。が。新。日。来。より。新。公。方。家。へ。参。上。り。新。將。佐。の。緯
 を。云。出。し。と。松。永。彈。正。が。彌。久。秀。の。大。和。河。内。和。泉。紀。伊。の。國。

して三十万斛余を拝領し。その身は和列の信貴山小を任せり。智勇不敵は老
 將を以て恐怖するも、いかにいかにも容易に信貴山を果せし事、小計の
 大とと思ひ、芥川へ使者を遣はし、品物と禮を奉る。殺逆の罪を以て好小
 信貴山を降参せん朝を乞はる。信長は小憤り。渠の平く、若將軍義輝公
 の新敵あり。平新公方家を守護し、まゐらせし落させし。其本意は渠が
 首を搦んが為なり。何とて禮を乞ふとて、事を放し、自らも、本中切小練を
 まゐらく。渠が名を以て老賊とて、軍小懸する。のちあらば、要産の城小固懸を
 勇たも、多く抱へ、征伐せんこと容易うらむ。まづ遠道へ破老賊小欺
 うまて、新氣を以て。禮物を奉置る。然るも、其余の城守、信の松永
 まら、新氣あり。のれを。俺們の答あらんと先を競く。將佐小急せらる。
 然ある、响ハ五七日小。畿内平均はらんと、勅め、信長も、漸く得心せられ

一、小松永と信長は、對面の式あり、小久秀、新後り、や、後別く
 言、小松永は、小老和列小を任せて、國中大概、治た、ま、筒井順廣といふ
 る者、信長の方、之を濫妨小おとび、を郡を拝領し、合戦を企む。は、し、事
 ともおわ。恰公方家の、能意せり。渠を退治し、惟ら、と願ふ。信長所
 一、ゆ、ま、筒井の原を、春日の社、小、筒井の庄、地領、職あり、大和の國の
 旧、部、は、國民を、懼と、呼、謂、り。然、み、が、ら、國中、平均、の、為と、あら、び、逆、之、朝
 宗、小、奉、圖、一、當、首、小、任、せ、重、責、を、一、と、松、永、を、退、せ、を、せ、ら、る、本、中、切、小、練、を
 小、中、松、永、へ、の、新、逆、禱、を、小、や、と、向、て、ま、さ、る、信、長、も、心、り、と、く、お、り、ま、さ、し
 う、退、る、の、油、清、と、認、置、せ、り。遠、朝、い、う、小、計、ら、ま、ん、や、と、亂、ね、玉、を、藤、吉、藤、松
 永、公、儀、の、藏、を、搦、て、自、己、が、領、地、を、新、潤、が、ん、と、ま、信、智、新、計、の、活、き、こ、こ、是
 せ、り、て、例、こ、一、玉、(但、今、畿、内、小、於、く、松、永、と、對、揚、せ、ら、る、を、お、り、筒、井、を、

秀吉衆人の疑怖を
解の籌策と醸

鶴見藤五郎
さんかたまり

普く浴中と

乱妨
まさむ



神の像。這駒本下藤吉郎。時分なりとわりのまじりては法野堀尾小
 密意せり。活中身はひと日属と兼所て二十余人の駿車と軍具
 上下嚴重小打扮。活中の街々を巡検せり。御史輩より機舎ありと
 立寄が狼藉せし者精々斬つる。法野堀尾へ大不怱き。奇怱乃
 事をかたしはる。後令所家人直居もせし。非義能道せしと奸奴の搦
 捉く法度と執さん某奴のぞ小祢祖を我々取の如く巡検せしは信々
 濫察を為あり。今まて何とて訴さるよと言所る小衛人輩。面看合せ大
 小親比。諸の織田殿の原化を告ご。仁義小富る大將小てま。ぬま
 其とも知らずあさ。離りあつらと恐惶や。厥あらん少の市中奉て
 安途を。泰東を唱へ仁化せ作きたくまらん。と認るらぬ小徳東の人。手
 織田家の所家人が。酒店を狼藉しなふ小とま。と法野堀尾の西人

之を道とてと駿車小指揮を。前後の通路より推進く。見放は鶴見
 九郎。執心解をたる相懸小て。理能さうち弱く罵散し。磔ふふ小。西八
 面傍他もひた。取作と見さる。緝捕ハ走進る。之語小斬る。奸奴の。錠
 意あると。此馬を。孫五郎。冷笑ひ我の織田殿の所家人也。鶴見藤五郎
 といふ者あり。價を贖ふて酒を飲ふ。於事さる。管謂を。そも某達ハ執族
 のみま。この欣樂の妨さる。彼退去を。因小り。見せん。と臆。氣もさ。云強
 る。堀尾吉情大不怱。君の所名を。織を曲者。搦捕て。所障へ。撃。能。此。月
 せ。命と指揮とま。意受て。と。駿車。飛。孫五郎。引捕へ。と。美。め
 ち。お。折見。環。眼。歳。と。肝。き。墮。雷。の。像。を。走。り。う。祭。團。と。一。志。心。魁。の。駿。車。と。擊
 担。て。抛。退。り。堀。尾。佳。火。て。そ。ま。公。軍。一。途。小。蒐。り。七。掉。胡。と。い。ふ。尾。小。得。り。と
 二。七。人。た。有。り。と。著。り。と。折。見。死。力。を。顯。て。或。ハ。跪。倒。し。跪。味。了。醉。多。死。

由五臣三編卷之十一
十一



堀尾茂助の
悍勇鶴見
藤五郎と
虜みする

堀尾茂助の
悍勇鶴見
藤五郎と
虜みする

酒河不狂ふが像く。當る不任せて暴起りまは此威小怖きて近死得た言
 晴大不怒声と数。かのまの泣礼果こも。道まほしき小覺語せせよと罵
 ながら跳蕩り膝小崩小を子とと。出烟烈しく相合らる。怪尾ハ竹うる
 勇たあり。勢見と練下小抱く。押へ難く繩をど纏うらる。と色法街人
 輩群聚親面小こまをて見て。河公官の奮勇大張あり。と感心とぞ飲令
 浅野怪尾ハ膝立舟と撃起させ。女陣小降りらまは小下出て對面なり。
 よくと約束小違ざらる。諸遠居こそ大切なき。恥辱を忍ぶも君は河為
 ありらまよと會合ぬ。然しく鶴見をまびく。綁め。洛中を撃編し。そ
 之傳河原小於く。と日があらまよまをを舞と不見ぬさながら。稲麻の像く。後
 立舟とて誘ふまは。織回殿をあげて渡りあり。その後死刑小死ふはせ
 公橋りつてまめまよまは。洛中の貴賤此を視て。信長の政道依信せか

さと津義廉直あゆらまよと源く感ト深く歡び。系洛外まを聞傳て。
 全く靜謐小治らる。秀吉藤立舟をむそく招死多く。浪子を渠と興
 へく。汝姑く系都を出尾別。法測小整居せよ。来日岬出のまて。一こく。
 情々地小系都を落。清洲城へを送行ける。

繪本豊臣勳功記三編卷之一 終

